

(4) 温泉ブロック (松山市、東温市)

～産地づくり～

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たな産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○新たな中晩柑類のトップブランド産地づくり

1 愛媛果試第28号 (紅まどんな)

【取組】

- ・「紅まどんな」の規格に合う高品質果実を生産するため、早期摘果や灌水、剪定など栽培管理の徹底を講習会等で普及 [図1]

【成果】

- ・灌水等栽培管理の徹底により、小玉果や微裂果等の減少を確認

2 甘平

【取組】

- ① 連年安定生産を目指し、pF計 (土壌水分計) を用いた灌水管理や摘果剤散布による半樹別交互結実等の実証ほを設置 [図2]
- ② 魅力ある中晩柑産地づくり会議の開催 (5、3月)

【成果】

- ① 半樹別及び大枝別交互結実法の導入により、摘果時間が約34%減少
- ② 実証結果報告と効果の高かった試験について継続調査を決定

3 愛媛果試第48号 (紅プリンセス)

【取組】

- ① 越年品種であるため、温暖な無霜園地での導入を推進
- ② 品種特性を把握するため、果実品質調査を実施 [図3]

【成果】

- ① 栽培面積:30.1 ha [R4:17.3ha]
- ② 生理障害果が内裾部に多い特性を把握 (内:26%、外:12%)

4 品種共通 (高品質安定生産技術の確立)

【取組】

- ① マニュアル(「伊予柑を中心とした超省力化技術」)の活用や傾斜かんきつ園での農業用リモコン運搬台車の現地実演等を通じて、超省力化技術の普及を推進 [図4]
- ② 連年安定生産のために中晩柑園地の土壌分析を推進
- ③ 農業の省力化機械 (電動一輪車、電動ハサミ、ドローン等) を男女共同参画研修会にて研修・実演等(1/15) [図5]

【成果】

- ① 実演を通じて超省力化技術を認識
- ② 中晩柑園地の土壌 (205点) のpH、ECを2月に分析し、農家の土壌改善に反映
- ③ 省力化機械の操作を体験し、生産者の関心が向上



図1 剪定講習会 (紅まどんな)



図2 水分管理指導 (甘平)



図3 果実品質調査
(愛媛果試第48号)



図4 農業用リモコン運搬台車



図5 電動一輪車の実演

○新たな中晩柑類のトップブランド産地づくり

5 災害復興・樹園地整備

【取組】

- ① ワーキングチームにおいて、各地区の事業進捗確認や課題解決に向けた取り組み等を通じて早期成園化等を支援
- ② 中予地区柑橘農業復興・再編連絡会議(8/6)及び中予地区柑橘農業復興・再編ワーキングチーム会議を開催(10/4) [図6]

【成果】

- ①
 - ・導入品種の検討や土づくりのための実証ほ（春播き・秋播きの緑肥、土壌改良資材）を設置し、農家の土づくりへの重要性の認識が向上
 - ・下難波地区：営農施設整備計画の着実な推進
堆肥投入有無による緑肥発芽率の違いを確認
 - ・泊地区：導入品種の検討・決定等
 - ・浅海原地区：整備初期の土づくり（緑肥含む）実施を推進 [図7]
- ② 関係機関での情報共有及び再編整備の推進啓発



図6 ワーキングチーム会議



図7 浅海営農部会で緑肥説明

○「はだか麦」と「水稻」の高品質生産の推進

1 はだか麦

【取組】

- ・関係機関や生産者に対し、生育予測情報などを提供するとともに、巡回等を通じて適期作業の励行等を推進

【成果】

- ・はだか麦の栽培面積：260ha [R4：258ha]
収穫量：789t [R4：643t]

2 水稻

【取組】

- ① 県オリジナル品種「ひめの凩」の普及のほか、生育予測情報などを提供し、各作型における適期作業の励行を推進
- ② スマート農業推進の一環として水田の水管理の自動化を検討し、試験的に水位センサーと自動開閉式給水栓を設置

【成果】

- ① 「ひめの凩」の栽培戸数：43人 [R4：36人] [図8]
栽培面積：30ha [R4：22ha]
- ② 水位センサー等を東温市松瀬川地区に設置。水位調整機能は概ね正常に作動し、止水や給水作業で約5割の省力化 [図9]



図8 ひめの凩栽培講習会



図9 水位センサー設置

○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

1 なす

【取組】

- ① 天敵利用技術を確立するため、実証ほの設置や天敵利用技術の先進地に視察を実施
- ② 大阪圏域で松山長なすをPR

【成果】

- ①
 - ・天敵利用マニュアル等を作成、生産者に配布し技術を普及 [図10]
 - ・生産者等が高知県の天敵利用技術を習得（14人） [図11]
 - ・天敵導入者：計24人 [R4：計18人]
 - ・新規栽培者7人を確保 [R4：4人]
- ②
 - ・大阪・京都の「えひめ食の大使館」料理担当者より、「とても調理しやすく、柔らかいのに煮崩れしない」と高評価
 - ・松山長なすを使った料理をSNSで発信したことにより、認知度が向上

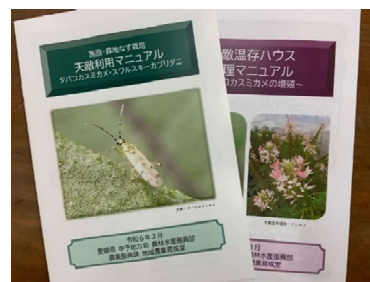


図10 天敵利用マニュアル



図11 高知県のなす農家と意見交換

○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

2 さといも

【取組】

- ① 「愛媛農試V2号（伊予美人）」の産地化に向け、個別巡回や栽培技術講習会を開催するとともに、ドローン防除の実演会や先進地視察研修を実施 [図12]
- ② 青年農業者組織を対象とした講習会や各種会合等を通じて新規栽培者の掘り起こし活動を実施

【成果】

- ① 栽培者の省力化技術に対する理解が促進するとともに、栽培面積が11.3haに増加 [R4年比：151%]
- ② 新規栽培者17人を確保 [R4：11人]

3 いちご

【取組】

- ・環境制御技術に関心があり、地域の模範となるモデル農家（だんだんの会）に対し勉強会を実施するとともに、天敵利用、炭酸ガス日中施用、環境モニタリング機器を設置し、環境データを測定

【成果】

- ・環境モニタリング等に関心のある農家1戸が加入（計6戸）
- ・環境データの蓄積と環境制御技術勉強会でデータを活用（11～2月、計4回） [図13]
- ・環境データ、生育調査（いちごの観察含む）の重要性を農家自身が認識するとともに、会員間で病害虫や生育状況等の情報を共有

4 パクチー

【取組】

- ① 実証ほを8か所設置し、周年生産技術と芯腐れ対策等を実証
- ② 都内企業の社員食堂での愛媛フェアにて、中予産パクチーを提供（8、9、3月）
- ③ 主な出荷先である大阪市中央卸売市場で、卸売業者と仲卸業者を対象に試食会（100食）やPR活動、アンケート（19社）調査を実施（11月） [図14]

【成果】

- ①
 - ・栽培者のほ場の標高や環境による最適な作型を解明
 - ・カルシウム剤散布により夏季の芯腐れ株率が20ポイント減少し（80%→60%）、散布区の発症株の症状も軽減 [図15]
 - ・栽培農家数：17戸 [R4年比：131%]、新規栽培者5人確保
- ② 8月に4メニュー280食を販売し、好評により9、3月にも提供
- ③ 市場関係者への中予パクチーの認知度が向上。アンケート結果により高い品質評価を得るとともに、周年安定出荷と夏季出荷の増産要望を把握

5 花き・花木

【取組】

- ① 「さくらひめ」の需要期出荷に向けて、夏季自家育苗技術の実証、農家や市場等との検討会（7、2月）を開催 [図16]
- ② 「ユーカリ・グニー」の産地拡大に向けて、水田転換ほ場での栽培技術の検討および挿し木・育苗講習会を実施 [図17]

【成果】

- ①
 - ・夏季自家育苗技術の実証（7か所）
 - ・高校卒業式需要に対応し、2月下旬出荷：297本 [R4：0本]
 - ・自家育苗によるコスト低減（約70%減）
 - ・実証結果と需要期出荷報告、次年度の活動計画を決定
 - ・市場の動向把握と出荷基準の見直し
- ②
 - ・ユーカリ・グニー栽培面積：15.6ha [R4年比：113%]
 - ・JAえひめ中央温泉地域花木部会：第53回日本農業賞優秀賞を受賞



図12 ドローン防除実演会



図13 「だんだんの会」研修



図14 試食会の実施状況



図15 パクチーのカルシウム剤散布実証



図16 自家育苗実証状況



図17 ユーカリほ場の排水改善対策

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

○地域の農業・農村を支える多様な担い手の確保・育成

【取組】

- ① 就農希望者に対する就農相談を実施(常時)
- ② 新規就農者に対して栽培技術等の情報提供や青年等就農計画・資金計画等の策定を支援 [図18]
- ③ 就農後のフォローアップによる定着促進と経営改善計画策定を支援
- ④ 女性農業者の活躍を促進するため、若手で組織する農業女子会の活動を支援し、農業経営者としての実践的技術や知識の向上を図るとともに、交流の場を創出 [図19]

【成果】

- ① 就農相談件数は 57件 [R4：47件] となり、新規就農者を確保
- ②
 - ・新規就農者数：21人 [R4：15人] ※40歳未満
 - ・青年等就農計画の認定：19人 [R4：16人]
 - ・新規就農者育成総合対策 ※令和5年度開始：30人 [R4：32人]
 - ・経営開始資金・経営発展支援事業：18人
 - ・就農準備資金：12人
- ③ 経営開始型受給修了者の経営改善計画策定：4人 [R4：10人]
- ④ かんきつ栽培講習や先進地視察等により、女性農業者の実践的技術や知識が向上 [図20]



図18 新規就農者支援



図19 農業女子会活動支援

○農業の働き方改革の推進

1 アルバイター等の確保

【取組】

- ・管内のアルバイト派遣において、主にJAえひめ中央が窓口となった受入体制の整備を支援し、労働力確保に取り組む

【成果】

- ・窓口登録者数：159人 [R4：107人]
- ・アルバイト派遣人数：295人※ [R4：427人] ※雨天による求人減
- ・補完労働力確保に向けた勉強会を開催し、南予地域で先行している有償ボランティア制度についての理解が深化（8月） [図21]

2 農福連携の推進

【取組】

- ・労働力が不足している農業者と農業生産活動に関心のある就労継続支援施設をマッチングするとともに、JAを窓口とした農作業受委託システムの運用を推進

【成果】

- ・マッチング数：2事例
（内容：シンテッポウユリの定植、せとかの袋がけ） [図22]
- ・システムに登録した施設数：15施設 [R4：13施設]

3 家族経営協定の推進

【取組】

- ・農業経営に携わる家族が意欲とやりがいをもって経営に参画できるよう家族経営協定の締結を推進

【成果】

- ・新規協定締結数：8件
- ・新規就農者を中心に協定締結の機運が向上



図20 かんきつ栽培講習会



図21 補完労働力確保勉強会



図22 農作業体験マッチング会
(シンテッポウユリの定植)

○住民の連携促進による地域活性化

1 鳥獣害対策

【取組】

- ① 実証エリアを設置し、エリアに適合した被害防止対策を重点的に
行い、技術実証と効果確認を実施
- ② 関係機関との連携や鳥獣管理専門員への活動支援等を通じ、鳥獣
被害への総合的な対策を管内全域へ拡大を企図 [図23]

【成果】

- ① 松山市門田集落大室地区に実証エリアを設置し、傾斜地での柵の
補強対策を実証したところ、侵入を防止 [図24]
- ② 鳥獣管理専門員を1人確保

2 6次産業化、地産地消の推進

【取組】

- ① 愛媛6次産業化サポートセンターと連携し、農産物を活用した新
たな商品開発や販路拡大を支援
- ② 都市と農村の交流人口拡大を図るため、地域資源を活用した取組
みを推進
- ③ 農家女性組織による地域農産物を活用した食育の推進を支援する
ため、食文化普及講座を開催（5回）し、87人の児童及び保護
者が参加し、カレーや「小野の小町餅」等の地域農産物を利用し
た郷土料理を調理

【成果】

- ① 「6次産業化チャレンジ総合支援事業」採択件数：1件
- ② 農林漁家民宿認定数：3件
- ③ 郷土食文化への理解や知識が深化、農産物活用方法を継承 [図25]



図23 鳥獣被害防止対策協議会



図24 侵入防止柵の補強対策



図25 地域農産物を使った
食文化普及講座での実習

～農地再編整備によるブランド産地力拡大と担い手への集積・集約の加速化～

○樹園地の再編整備の推進

【取組】

- ① 農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用した樹園地の再編
整備を実施：5地区（松山市 下難波地区、浅海原地区、由良地区、
堀江地区、中島地区）
- ② 基幹水利施設（畑地かんがい施設）の更新整備を実施：1地区
（松山市 石手川北部地区）

【成果】

- ① 樹園地の再編整備完了：3.3ha
※内訳…下難波地区：0.8ha、浅海原地区：2.3ha、
由良地区：0.2ha [図26]
- ② 基幹水利施設（畑地かんがい施設）の実施設設計完了：1地区
（松山市石手川北部地区）



図26 下難波地区の樹園
再編整備状況



図27 南吉井地区の整備状況

○水田のほ場整備と基幹水利施設やため池の改修整備の推進

【取組】

- ① 農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した水田のほ場整備を
実施：1地区（東温市 南吉井地区） [図27]
- ② 基幹水利施設の整備、改修や農業用ため池の老朽化対策、耐震対
策を実施：13地区（松山市 浅海地区 他12地区）

【成果】

- ① 水田のほ場整備完了：1.8ha
- ② 農業用ため池の老朽化対策完了：4か所（松山市 王神池、野岳
下池、東温市 西の谷池、東谷池） [図28]



図28 老朽化対策が完了
した東谷池